

2014年 1月15日

北海道知事

高橋 はるみ 様

北海道平和運動フォーラム

代表 江本 秀春

代表 中村 誠吾

米海軍第7艦隊イージス艦「カーティス・ウィルバー」および「ジョン・S・マッケイン」 苫小牧港入港に反対する申し入れ

<要請趣旨>

貴職におかれましては、日頃から北海道民の安全・安心な暮らしを守るとともに、ゆたかな生活の実現のためご奮闘されていることに対して心より敬意を表します。

さて、米海軍第7艦隊イージス艦「カーティス・ウィルバー」および「ジョン・S・マッケイン」が2月4日から10日まで、苫小牧港に入港することが明らかになりました。

苫小牧港へは、2011年にミサイル駆逐艦「グリッド・レイ」、2012年に揚陸指揮艦「ブルーリッジ」および掃海艇「パトリオット」の米艦船が入港しました。そして、昨年は米軍の都合で入港中止となりましたが、高速輸送艦「ウエストパック エクスプレス」が入港しようとしていました。

このような「親善及び友好」を口実とした度重なる米艦船の入港は、苫小牧港の軍事的利用を常態化させるものであり、「非核平和都市宣言」を制定した苫小牧市民の努力を踏みにじるものです。

また、日米間の「核密約」が明らかになり、これによれば核兵器を積載した米艦船の日本国内の港湾への寄港を「事前協議」の対象外としてきたこととなります。これは、これまで政府・外務省が「事前協議がないので核持込みはない」などと繰り返し回答したことが、自治体及び国民を愚弄する虚偽であったこととなります。

その後の「核搭載能力を有しない以上、核兵器を搭載していないことに疑いはない」との回答も、何ら核不搭載の担保となりえないものです。

したがって、貴職におかれましては、道民の安全の確保や北海道の平和と軍縮をすすめる立場から、下記の事項について誠意をもって対応されるよう要請します。

<要請事項>

1. 道民の平和と安全を守る観点から、米海軍第7艦隊イージス艦「カーティス・ウィルバー」および「ジョン・S・マッケイン」の入港に反対すること。

以 上